

下都賀管内水稲技術資料 No.2

令和3年4月7日
下都賀農業振興事務所

重点ポイント

- ①基肥は地力にあわせて加減しましょう！
- ②田植え後は適切な水管理を行いましょう！

1. 栽培管理

◎基肥

基肥量が多すぎると**倒伏の原因**になります。また、茎数が増えすぎて風通しも悪くなり、病害虫が発生しやすくなるなど収量・品質に悪影響を及ぼします。ほ場の地力にあわせ施肥量を加減してください。

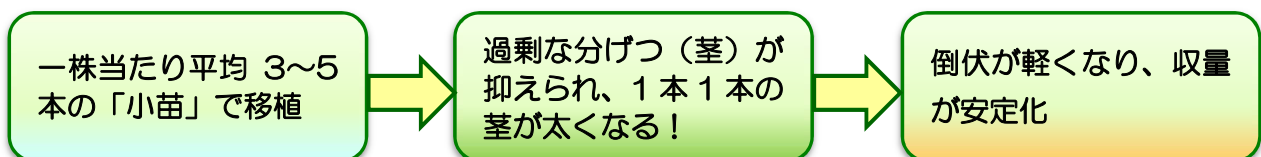
表 下都賀管内の品種別窒素の施用基準

作期	品種	基肥窒素量 (kg/10a)	穂肥窒素量 (kg/10a)	総窒素量 (kg/10a)
早植栽培	コシヒカリ	2前後	2~3	4~5
	あさひの夢	5~6	2~3	7~9
	とちぎの星	4~5	2~3	6~8
普通植栽培	あさひの夢	5~6	2~3	7~9
	とちぎの星	3	2~3	5~6

注)早植栽培:5月20日までに移植するもの

◎田植え

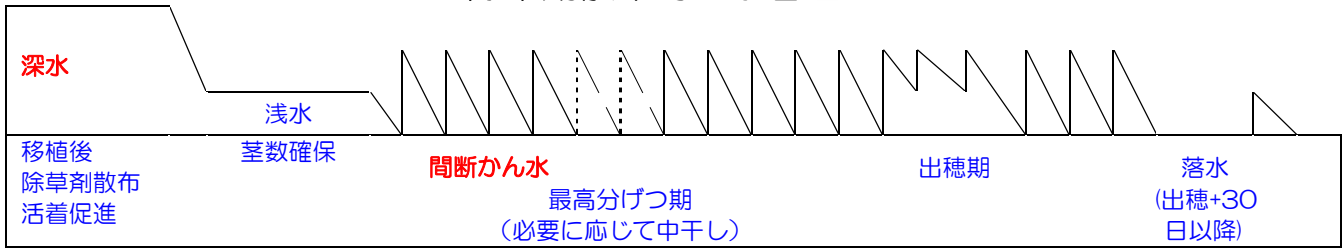
植付株数は**60~70株/坪**、植付本数は**3~5本/株植**を標準としましょう。6~8本/株の植付けは、過繁茂や倒伏につながります。また、1~2本/株の植付けでは、穂数不足や欠株を生じやすくなります。



◎水管理

田植えから**5~7日間は水深5cm程度**の深水に保ち、活着を促進させましょう。苗が活着したら日中止水で地温・水温の上昇を図り、茎数を確保しましょう。深水のままだと分けつが遅れたり、不要な時期に肥効が現れて倒伏につながります。

除草剤散布時の水管理



※水管理イメージ図

◎除草剤

除草剤は、散布ムラがあると効果が低下するばかりでなく、薬害が発生する可能性もあるので、均一散布に努めましょう。また、強風で薬剤が飛散しないよう注意しましょう。



- 除草剤を散布する直前には、湛水深を 5cm 位のやや深水とする。
- 散布後 1 週間は、絶対に落水・掛け流しをせずに、除草剤の処理層を安定させる。
- その後は、差し水等で水深 3~4cm を保ち、地表面は絶対に露出させない。

縞葉枯病対策を行いましょう！

近年、イネ縞葉枯病がの被害は少なくなっていますが、保毒虫率が高い地域がまだ確認されます（農環センター RO2年植物防疫ニュース速報No.14 資料）。気象条件によってはヒメトビウンカが大量発生し被害が出ることがありますので、引き続き以下の防除対策の徹底をお願いします。

抵抗性品種の作付や、防除効果の高い箱施用剤の使用など、適切な対策を行いましょう。

表 農薬使用例（令和3年4月7日時点で登録のある薬剤）

農薬名（ウンカ類に効果のある成分）	使用量	使用時期/使用回数
防人箱粒剤 （トリフルメゾピリム）	育苗箱 1 箱当り 50g	播種時(覆土前)~移植当日/1 回
フェルテラゼクサロン箱粒剤 （トリフルメゾピリム）	育苗箱 1 箱当り 50g	播種時(覆土前)~移植当日/1 回
スターダム箱粒剤 （ジノテフラン）	育苗箱 1 箱当り 50g	移植 3 日前~移植当日/1 回

注) 育苗箱 1 箱（30×60×3cm、使用土壌約 5L）

注意：フィプロニル成分を含む箱施用剤（プリンス粒剤等）は、ヒメトビウンカの防除効果が劣ります。使用しないようにしましょう！

★イネ縞葉枯病対策のポイントは、

- ① 縞葉枯病抵抗性品種の作付
- ② 適切な箱施用剤の使用、本田防除の実施
- ③ 水稻収穫後早めの耕起、ほ場周辺の除草の徹底

2. 昨年の経過

5月は高温で推移したが、6月下旬以降は曇りや雨の日が続き、日照時間は平年を大幅に下回り、葉いもちの発生が見られた。梅雨明け後は高温多照の日が続いた。また、7月の長雨・日照不足の影響で軟弱に生育したうえ、中干しができなかったためコシヒカリを中心に倒伏が増加した。

3. 気象庁の1か月予報（3月24日発表）

気温、降水量の各階級の確率（％）					
気温	関東甲信地方	04月～06月	20	30	50
		04月	20	40	40
		05月	20	40	40
		06月	20	40	40
降水量	関東甲信地方	04月～06月	20	40	40
		04月	30	40	30
		05月	30	40	30
		06月	20	40	40

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

気温は平年並～暖かい、
降水量は平年並みの予報です。



4月～6月は「春の農作業安全確認運動」の実施期間です。
安全作業の第一歩！ 機械の日常点検は必ず行いましょう。

問い合わせ先

栃木県下都賀農業振興事務所 経営普及部 農畜産課 0282-24-1101
HP <http://www.pref.tochigi.lg.jp/g54/index.html>